

令和6年度前期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田県立大学 本荘キャンパス
科目名 (サブタイトル)	[23] ヨーロッパ・ミュージアム建築の旅	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	システム科学技術学部 建築環境システム学科 准教授 込山 敦司 (計1名)
授業概要	ミュージアムは建築そのものが特色ある作品であり、芸術作品を展示保管するために、機能的にも対応した空間が求められます。今回は、ドイツを中心としたヨーロッパの事例を旅しながら、その魅力にふれていただく機会とします。		
授業方針	令和5年度以前の内容を、若干アップデートしたものになります。昨年度及び一昨年度受講した方はご注意ください。		
会場・教室	カレッジプラザ 小講義室1		
会場住所	秋田市中通2丁目1-51 明德館ビル2階		
欠席連絡先	秋田県立大学・アドミッションチーム (平日9:00~17:00) 電話: 0184-27-2100 E-mail: sys_nyushi@akita-pu.ac.jp		

授 業 計 画

【募集定員人数: 30名】 先着順で募集を締め切ります

第1講: 「歴史あるミュージアム建築の魅力-伝統的な空間の改修と活用」

<6月15日 (土) 13:20~14:50>

ルーブル美術館 (フランス, パリ), ウフィッツィ美術館 (イタリア, ミラノ), アムステルダム国立美術館 (オランダアムステルダム), シュテーデル美術館 (ドイツ, フランクフルト) を題材に, 建築の特徴と, 改修や増築の際の建築家の提案について解説します。

第2講: 「ミュージアム建築のアイデアと建築家の模索-ホワイトキューブを超えて」

<6月15日 (土) 15:00~16:30>

単に白い箱 (ホワイトキューブといいます) をつくれば便利でよいのか? 光や風景との対話, あえて彫刻作品のようにした建築など, 作品と向き合うだけではない, 視覚体験や展示方法を模索した (させる) 建築を中心に, 解説を行います。

その他	
テキスト	
参考文献	
関連科目	